



公開No.35

責任者 春日井 晃一

品質改善で環境が良くなり儲けも増える！ 「私達の自慢できる品質・拘り品質」 [環境改善推進会議より]

◇ CF FSDT (営業・倉庫)

① CFの強みを活かす採算改善活動

内輪鍛造完から熱処理完への移行など、アイコクの持ち味・製品の強みを活かすことに拘り、不採算部品の辞退や単価アップについて、営業一人ひとりがテーマを持ち活動しました。差額改善目標 5,000 千点/年にはわずかに届かなかったが狙ったことができました。又、新人・高川 S の初受注は嬉しい出来事でした。

② 業務が異なるメンバー間で多能工化に挑戦。皆が成果を実感！

課題ラリーで多能工化に取り組みました。梱包・出荷・統制・事務と業務内容の異なるメンバー間で話し合い、応援できる体制を確立。急な欠勤にも対応でき、平均残業時間目標の 18.6H 以下を安定して達成できるまでになりました。

長期連休も交代勤務で全員が休日を取得でき、多能工化の成果を皆が実感。プレーヤーズ発表カードで多くのメンバーが発表してくれたことがチーム自慢です。

◇ AP AQCT (品質保証)

① 品質をより良くする活動：解りやすい作業標準化資料へ

品質をより良くする活動の一つとして、お客様毎に異なる提出書類や独自の注意点を誰にでもわかるように一覧表にし、“知らない・忘れ”を防ぐ活動に取り組みました。

初めての作業にも解りやすい資料とすることに拘り、言葉では伝えきれない内容は画像を活用して作成したことで、理解度の向上に繋がっています。

② 検査成績書は製品の一部

検査成績書は製品の一部であり、製品同様に高い品質が要求されます。そのため成績書の自動入力・自動判定へ取り組み、システムとして完成させています。

今回、バーコードリーダーを活用した自動入力化を更に進めています。間違えない・ミスに気付くような改善を行ない、成績書の完成度を高めていることが自慢です。

回覧確認欄

◇ MS MCAT (自動車)

ブランド化に値する品質活動

ソフトウェア業界でも、製造業の会社としての品質を意識した取り組みが、どこにも負けない強みです。地道な努力の継続で顧客がアッと驚く品質を提供します。

① 「不適合は0件が当たり前」と皆が思っている

不適合「0」項目(絶対不適合は発生させないと自分達で宣言した項目)は、昨年6月及び12月の登録項目は全て達成でき、再発も“0”件と自慢できる非常に良い状況を継続できています。

不適合を発生させない為に、QMS勉強会を毎週のように繰り返し行ない、“品質意識”の定着化を狙っています。又、QMS文書のタイムリーな提出を仕事の基本として習慣付けに取り組み、今年度は1ヶ月以上掛かったものは0件です。

② 「品質は儲かる」を皆が実感

QMS活動(仕様を明確にして、テストを行ない、品質の高いサービスやプログラムを納品する仕組み)を地道に続けることに拘り、そのことがお客様に認められてきました。その結果、顧客サポートは他社との差別化が進み、価値がさらに上がり儲けにつながっています。

◇ 本社 ITKT (情報技術部門)

業務全般の品質向上に重点を置き、2つに重点を置いた活動を進めてきました。

- ・足りない仕組みと、狙い通り活用できない仕組みの再構築
- ・品質活動をチーム全員にわかりやすくすること

PCセットアップ作業の品質改善“品質改善は仕事がやりやすくなる近道”

Win10 拡大推進に伴う数十台規模の入れ替え作業において、メンバーやリーダーの工夫で成果を出してくれました！

- (1) 管理表をわかりやすく改良して、記録簿の役割を追加
- (2) 出荷前の第3者チェックの徹底と手順書の改訂・見直し頻度アップ
- (3) Win10 PCに発生した課題と解決策の情報共有
- (4) 進捗表を使ったフェーズ毎の担当と日程目標の見える化

全員が一定の品質レベルで作業できるようになり、完了日を守る協力体制もできました。結果、月6台だった納入が30台可能(セットアップまでなら40台可能)となり、設定漏れなどの品質トラブル発生はほぼなくなりました。